

[ 横浜市民ギャラリー ]  
 平成 23 年度業務報告及び収支決算  
 [ 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業。○：共催事業  
 を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
 □：定量的指標。■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市中区万代町 1-1
構造・規模	教育文化センター（鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下 2 階・地上 11 階）のうち地下 1 階、地上 1 階、2 階、3 階部分
敷地・延床面積	専有延べ床面積 2,918 m <sup>2</sup>
開館日	昭和 39 年 3 月

2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目 40 番地
代表者	理事長 澄川喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

48年に及ぶ歴史と指定管理第一期で育んだノウハウを活かして事業・運営面での充実を図るとともに、新規事業の打出しや開館以来築いてきたネットワークの深化・多展開を目指し、指定管理第二期の1年目をスタートしました。しかし、前年度末に起こった3.11の東日本大震災により耐震・安全面での問題が指摘され、横浜市による検討の結果、市民ギャラリーの一時休館が決定し、年度末における利用団体への説明会開催など、通常業務に加え閉館移転問題の対応を迫られ、運営に大きく影響しました。

一方で、伝統ある3本の展覧会（ニューアート展・こどもの美術展・コレクション展）はいずれも充実した内容で各方面から高い評価を得ました。前22年度に広報を抜本的に見直し、情報誌等ではビジュアル面を刷新するとともに積極的な全館広報（貸館、事業ともに）を打ち出したことによる効果が、前

述の展覧会やその他講座事業等にもあられ、さらに館の事業に深い理解と協力を申し出てくれる企業協賛や助成を多く得ることに成功し、ファンドレイズにおいても大きく前進しました。

管理面では耐震面や災害時避難について従来以上にきめ細かく対応し、3回の防災訓練も周到に準備して実施するなど安全安心運営に配慮し、利用者・来場者からの信頼を得ることができました。結果、アンケートによる調査では前年度以上に高い満足度となりました。

その他、ボランティア活動においてはチーム制を導入し、チームリーダーを中心に、「ボランティア通信」の発行や開館以来の書籍整理など自主的で多様な活動が生まれました。また、横浜市を挙げての節電対策、募金活動などにも積極的に協力実施し、利用団体からの理解も得て、募金活動は平成23年度末まで一年を通して実施しました。

23年度に工夫・苦慮した点を生かし、この地での最終年となる24年度の活動運営に結実させていただきます。

#### 4 業務の取組と達成指標

##### (1) 事業について

##### ア 発信性のある自主事業の実施について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① ●ニューアート展 (展覧会および普及事業)の新たな展開。「創造都市横浜からの発信」を明確に捉え、創造都市の立地を活かした連携の強化</p>	<p>① □入場予定者4,000名、9月30日～10月19日、ボランティア延べ50名参加、関連事業の実施2回以上</p>	<p>① 「ニューアート展 NEXT2011SparklingDays」 横浜市の都市政策に関連し頭角を表してきた若手3作家を選び、新作インスタレーションを含め全96点を紹介。3.11の震災からモチーフを得た作品など時代を映す作品を多く展示するとともに、「今日の作家展」(1964-2005年)「ニューアート展」(2006年-2010年)からのレガシーも受け継ぐ展覧会として実施しました。</p>	<p>①新作とインスタレーションが多く、事前の広報でイメージを伝えづらかったこと、展示の都合で観客導線を普段と変えざるを得なかったことなどから集客面での苦労がありましたが、トリエンナーレの影響で遠方からの来館者も目立ち、また内容について、多くの美術関係者から高い評価をいただきました。</p>
<p>② ●市民ボランティアの育成と連動した「コレクション展」(展覧会および普及事業)の実施</p>	<p>□横浜トリエンナーレと同時期に開催することで広報等の連携を図り、周辺会場も含め会場間の回遊性を高め各会場相互の周知・集客に寄与する ■満足度4.0以上</p> <p>② □入場予定者3,000名、平成24年2～3月、関連事業2回以上実施 □展覧会前の作品選定、会期内の鑑賞サポーターとして、ボランティアの参加を図る。ボランティア延べ50名 ■満足度4.0以上</p>	<p>② 「コレクション展 2012 THEフェイス-収蔵作品にみる顔の表現」 通常より2日短い会期でしたが、予定を6割以上上回る集客があり、アンケート回収率ならびに顧客満足度も高く、ボランティアの活用も含め、収蔵作品に</p>	<p>本展の協賛会社の一つ(株)NTTドコモの情報端末および市民ギャラリーのホームページで展覧会動画の閲覧が現在も可能で、開催後のパブリシティとしては理想的な協賛を得ることができました。 □入場者：3,454名</p>

		<p>対する市民の高い関心に応える展覧会となりました。</p>	<p>□開催時期：9/30～10/19(20日間)  □協賛金・助成金：  現金 5,580,000 円  現物協賛 10,587,370 円  (原価ベースによる)  ※協賛金 2 件、広告協賛 2 件、助成金 1 件、現物協賛 13 件  □アンケート：回収率 19%、顧客満足度 4.20  □ボランティア：  ・制作ボランティア=荒神明香滞在制作ボランティア 56 名、延べ 113 名  ・関連イベント時のサポートボランティア 12 名  □関連事業：4 回、参加人数 171 名  ■横浜トリエンナーレ 2011 との連携  ・関連イベントとして、逢坂恵理子ディレクターと出品 3 作家とのクロストークを開催  ・関連事業の際に MC 紹介  ・チラシ、ポスターで「連携事業」のクレジットを入れ、チラシは相互会場で配布、宣伝  ・情報誌「アートヨコハマ」45 号で特集記事掲載  ・OPEN YOKOHAMA 刊行物に参加・照会  ②□入場者：5,009 名  □開催時期:3/1～18(18日間)</p>
--	--	---------------------------------	---

			<input type="checkbox"/> 協賛金：36,000円 <input type="checkbox"/> アンケート：440名、回収率9%、顧客満足度4.03 <input type="checkbox"/> ボランティアの参加：延べ56名 事前研修会3回で27名、内覧会6名、鑑賞サポーター21名、関連事業2名 <input type="checkbox"/> 関連事業：2回 ・スペシャルトーク3/10、40名 ・ギャラリートーク3/3、20名
--	--	--	---

イ 次代を担う子どもの創造性教育の場の提供について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①●文化芸術の体験の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住・在学の12歳以下の児童の無審査公募展(7～8月、6日間)</li> <li>・小学生以下対象の造形教室(多文化共生プログラム)</li> </ul> <p>②●教育機関等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術教育等に関する相談等に対応</li> <li>・○「せんせいの美術展」(仮称)開催のための準備協議</li> <li>●「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」参加に伴う市内小中学校授業のコーディネーション</li> </ul>	<p>①「横浜市こどもの美術展」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>出品点数3,000点、入場予定者8,000名、高校生～大人までの広い世代にわたるボランティア30名、ワークショップ参加者300名</li> <li><input type="checkbox"/>満足度4.0以上</li> </ul> <p>「ハマキッズ・アートクラブ」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>全8回、うち1回は「横浜市こどもの美術展」(仮称)の実施、各回30名参加</li> <li><input type="checkbox"/>満足度4.0以上</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■美術教育等の相談対応：随時</li> <li>■平成25年度開催予定の「せんせいの美術展」準備協議：随時</li> </ul>	<p>①「横浜市こどもの美術展2011」</p> <p>今年度始めた立体の応募が24点、また「ハマキッズ・アートクラブ」7月に実施した回のダンボールアートの作品も展示し、他方で展示室内のワークショップの充実も図り、全体的に起伏に富んだ内容の展覧会となりました。</p> <p>ワークショップは、横浜美術大学、横浜市中区役所と連携しました。</p> <p>「ハマキッズ・アートクラブ」</p> <p>多文化共生を年間テーマに、「横浜市こどもの美術展」に続き横浜美術大学および中区役所と</p>	<p>①「横浜市こどもの美術展2011」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>入場者：12,165名</li> <li><input type="checkbox"/>出品数：3,006点</li> <li><input type="checkbox"/>開催時期：7/30～8/4(6日間)</li> <li><input type="checkbox"/>協賛金・助成金の獲得額360,000円(3団体、1企業より)</li> <li><input type="checkbox"/>アンケート：回収率21%、顧客満足度4.33</li> <li><input type="checkbox"/>ボランティア：一般47名、高校生40名、中学生40名</li> <li><input type="checkbox"/>ワークショップ参加者：4,395名</li> </ul> <p>■従来以上にワークショップの充実を図り、連日多彩なプログラムが目白押しで、参加した親子から好評を得ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>・アートで“縁日”</li> </ul>

	<p>□アウトリーチ：年 2 校程度</p>	<p>の連携でアーティストプログラム 4 回を実施し、他に職員が講師として実施した 3 回、合計 7 回を開催しリピーター参加も多く好評でした。</p> <p>②美術教育等の相談は事業開催時をはじめ随時受付し、助言・紹介等に努めました。</p> <p>「せんせいの美術展」(仮称) は、当ギャラリーの閉館移転が決定し、事業そのものを見送ることになりました。</p> <p>「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」により、小学校 1 校、中学校 1 校で実施しました。</p>	<p>7/30-8/1 =1, 185 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字であそぼう 8/2-4=310 名</li> <li>・革で作ろう！ 7/30-8/4=2, 900 名</li> </ul> <p>□関連事業 スペシャルトーク 7/31=91 名</p> <p>「ハマキッズ・アートクラブ」</p> <p>□実施回数 (6-2012. 1 月) : 7 回</p> <p>□参加者 : 7 回で 207 名</p> <p>□助成金・協賛金の獲得 453, 000 円 (2 団体より)</p> <p>□アンケート : 回収率 61%、顧客満足度 4.6</p> <p>②教育機関等への支援 問合せには、対面で各種情報誌や情報サイトなども駆使し、丁寧に対応しました。</p> <p>「せんせいの美術展」は現市民ギャラリーでの実施はできなくなりましたので、移転後の調整課題となります。</p> <p>「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駒岡小学校=玉田多紀 (ダンボールアート)</li> </ul> <p>□実施日 : 12/8, 9</p> <p>□参加 : 4 クラス 123 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六角橋中学校=AS 輪組 (彫刻家・建築家のユニット、学校のトイレをきれいにする活動を推進)</li> </ul>
--	------------------------	--	---

			<input type="checkbox"/> 実施日：1/16, 23 <input type="checkbox"/> 参加：8 クラス 291 名
--	--	--	--

ウ 市民やアーティストの創造活動支援の場

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①●初心者を中心とした絵画教室を実施し、絵画人口・ファンのすそ野を広げる</p> <p>②●市民（16歳以上）の出品作品を無審査で展示する展覧会の開催</p> <p>③●大人のための多様な美術関連講座の実施</p> <p>④●ボランティアによる展覧会参加（各展での鑑賞サポーターや「コレクション展」での学芸員と共に学び・作るキュレーション活動など）</p> <p>⑤●学校や地域との連携から生まれる新規展覧会の実施</p> <p>⑥●自主事業でとりあげるアーティスト支援のためのレクチャーや指導講座の実施</p>	<p>①□全 20 コース、参加者のべ 770 名（レギュラーコース 10、単科コース 10）</p> <p>■年度末に「絵画教室卒業制作展」の実施</p> <p>②□「ヨコハマ日曜画家展」出品数 200 点、入場者 6,000 名</p> <p>③□「ハマゼミ」年度後半での実施を目指します</p> <p>④ボランティア研修会：展覧会前後の学芸員によるレクチャーや勉強会、および横浜美術館等他の文化施設見学会等での実施</p> <p>□交流会：年 1 回</p> <p>⑤■美術系大学や専門学校等の卒業制作展等の誘致</p> <p>○「せんせいの美術展」の開催（平成 25 年度予定）</p> <p>⑥■展覧会事業（3 回）、ハマキッズ・アートクラブでの講座：各事業ごとにアーティストを取り上げて実施</p>	<p>①「絵画教室」</p> <p>全面的に刷新し、面接で選出した講師陣とプログラムの改定により新規面を多く打ち出した講座内容となり、受講生からの評判も高いものとなりました。人気のクラスは 5 倍近い抽選倍率となりました。</p> <p>②「第 35 回ヨコハマ日曜画家展」</p> <p>35 回記念とし、募集地域を神奈川県まで広げ、学生出展料を下げたことで、市外からの応募が増え、学生の出展もありました。</p> <p>③指定管理料の減額に伴い実施を見合わせましたが、特別版として 1 回実施しました。</p> <p>昨年の「コレクション展 2011」の関連事業として予定していたトークが 3.11 の震災により中止となりましたが、開催を望む声が多く、内容を改め特別版として実施しました。</p> <p>「おとなのための教養講座ハマゼミスペシャル」講師：国吉直行（都市デザイナー）</p> <p>④展覧会のボランティア</p>	<p>①「絵画教室」</p> <p>□バリエーションに富んだ全 20 コース設定</p> <p>・レギュラーコース：全 17 回が 10 コース</p> <p>・単科コース：10 コース</p> <p>全 7 回 4 コース、全 3 回 2 コース、全 1 回 4 コース</p> <p>□参加者人数：全 20 コース（208 回）で 770 名</p> <p>□受講料収入：12,631,000 円</p> <p>□卒業制作展 2/29-3/6（7 日間）</p> <p>出品数 288 点</p> <p>出品率 62.6%（全受講生 460 名）</p> <p>入場者 2,290 名</p> <p>②「ヨコハマ日曜画家展」</p> <p>□出品数 232 点、入場者 7,378 名</p> <p>③「おとなのための教養講座ハマゼミスペシャル」</p> <p>□開催日：3/7</p> <p>□入場者 52 名</p> <p>□ボランティア 6 名</p> <p>④展覧会におけるボランティア活動</p> <p>「横浜市こどもの美術展 2011」</p> <p>コメントカード作り・コ</p>

		<p>ア参加</p> <p>3本の企画展でいずれも参加を果たしました。特に「コレクション展」では事前の調査活動やキャプション制作、鑑賞サポーターなどより深く事業に関わりました。</p> <p>⑤閉館・移転が決定し、積極的な利用セールスは実施しませんでした。</p> <p>⑥アーティストとの協働</p> <p>いずれの事業でもアーティストを積極的に取り上げ、様々な試みと市民との触れ合いを創出しました。</p>	<p>メントカード貼り・会場案内等の活動で、市民47名、高校生40名、中学生40名。</p> <p>「ニューアート展NEXT2011」作家の制作ボランティア56名、のべ113名。関連事業の運営12名。</p> <p>「コレクション展2012」ボランティア参加:延べ56名。</p> <p>事前研修会3回で27名、内覧会6名、鑑賞サポーター21名、関連事業2名。</p> <p>⑤■積極的な招致はしませんでした。展示室空室が2回ほどあり(5月と2月)、美術大学へのセールスをし、2回とも横浜美術大学が利用し画期的な展覧会となりました。</p> <p>⑥</p> <p>□「横浜市こどもの美術展」、中区役所との連携で書家をとりあげワークショップをおこなった(参加310名)。</p> <p>□「ニューアート展NEXT2011」制作ボランティア113名、逢坂横浜美術館長と3作家とのトーク55名、アーティストトーク3回70名</p> <p>□「コレクション展2012」</p>
--	--	---	---

			<p>所蔵作家のトーク 1 回 40 名</p> <p><input type="checkbox"/>「ハマキッズ・アートクラブ」</p> <p>アーティストプログラムを 4 回実施し、参加 133 名</p> <p><input type="checkbox"/>「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」</p> <p>2 組のアーティストを小学校と中学校に派遣。 2 組 4 回、参加 422 名</p>
--	--	--	--

エ 創作活動を介した人々の関わり合いの場

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①●民間ギャラリーとの情報交換や意見交換のシステム化</p> <p>②●利用者団体（NPO 法人横浜美術友の会）との意見交換</p> <p>③●ボランティア機能の強化</p> <p>④●学校とのネットワーク形成による日常の相談対応や「せんせいの美術展」開催準備等の円滑化</p> <p>⑤●アーティストとの触れ合いの場の提供</p>	<p>①■ギャラリーネットワークの形成：情報誌やホームページの編集だけにとどまらず、市内約 140 あるギャラリーとの実質的な連携・交流を目指す。</p> <p>②■協議等：随時</p> <p>③さまざまな活動を通じてボランティアとの市民協働を進める。 <input type="checkbox"/>ボランティア交流会：年 1 回（再掲）</p> <p>④■連絡調整：年 2 回程度</p> <p>⑤■・企画展での制作段階でのボランティアの募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会期間中のアーティストトーク</li> <li>・ワークショップでアーティストを講師として取り上げる</li> </ul>	<p>①閉館・移転に伴い、情報誌やホームページの編集以上に民間ギャラリーとのネットワーク強化は図りませんでした。</p> <p>②絵画教室、ヨコハマ日曜画家展といった事業運営で、NPO 法人横浜美術友の会と適宜意見交換をし、事業運営を円滑に進めました。</p> <p>③平成 14 年度から続くボランティア活動を振り返り、前年度に実施したアンケートを基に、検討を重ねボランティアの自主性を活用すべく、活動の性質によってチームに分けました。</p>	<p>①■140 ある民間ギャラリー全部とのネットワークにはおよびませんが、情報誌や HP での情報編集に加え、企画展で民間ギャラリーの広告協賛を取り、広報宣伝で相互協力が出来ました。</p> <p>②■広報等早い段階で意見交換協力し、「絵画教室」は指定管理第一期以上に受講者・受講料ともに増え、「ヨコハマ日曜画家展」「絵画教室卒業制作展」も出品数・入場者数ともに前年度を上回りました。</p> <p>③■「広報」「運営補助」「ライブラリー」「キュレーション」の 4 チームに分け、ボランティアと積極的に交流しながらチーム活動を行いました。</p> <p><input type="checkbox"/>チーム活動</p>

			<p>広報：活動 12 回のべ 50 名</p> <p>運営補助：活動 11 回のべ 127 名</p> <p>ライブラリー：活動 27 回のべ 127 名</p> <p>キュレーション：活動 5 回のべ 57 名</p> <p><input type="checkbox"/> 全体会議</p> <p>全体説明会 &amp; 交流会：5/21, 22 名</p> <p>振返り交流会：3/24, 18 名</p> <p><input type="checkbox"/> 館外活動</p> <p>7/16 象の鼻取材 &amp; 見学 8 名</p> <p>1/14 横浜美術館「松井冬子展」レクチャー &amp; 鑑賞 8 名</p> <p>1/31 横浜税関資料室レクチャー &amp; 見学 11 名</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア通信の発行</p> <p>要綱を策定し、2 回発行（各 300 部）し、HP で掲出もしました。</p> <p>創刊準備号：12/20</p> <p>創刊号：2/27</p>
--	--	--	---

(2) 運営について

ア 創造活動の発表の場の提供について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 展示室利用率年間100%を維持するため、利用年齢層拡大を目指し、大学、専門学校等の卒業制作展、作品展等を積極的に誘致</p> <p>② 条例に定める上限料金に準じた利用料金を徴収します</p>	<p>① □ 利用率 100%</p> <p>□ 開館について 開館日数 344 日 営業時間 10～18 時</p> <p>② 利用料金</p> <p>1 階展示室 273 m<sup>2</sup> (入場無料)(入場料徴収) 7,500 円 15,000 円</p> <p>2 階展示室 133 m<sup>2</sup> 4,500 円 9,000 円</p> <p>3 階展示室 997 m<sup>2</sup></p> <p>A 室 349 m<sup>2</sup> 10,500 円 21,000 円</p> <p>A-1 193 m<sup>2</sup> 5,200 円 10,500 円</p> <p>A-2 156 m<sup>2</sup> 5,200 円 10,500 円</p> <p>B 室 304 m<sup>2</sup> 10,500 円 21,000 円</p> <p>C 室 344 m<sup>2</sup> 10,500 円 21,000 円</p> <p>展示室全体 1,403 m<sup>2</sup> 42,000 円 84,000 円</p>	<p>① 2 回ほどキャンセルによる空室がありましたが美術大学に利用を呼びかけ 100%の利用率となりました。</p> <p>② 貸館利用団体と十分な事前調整を行い、安心して開催日を迎えることに専心し、利用料金に基づき利用料を徴収しました。</p>	<p>① □ 開館日数 345 日、利用時間 10～18 時</p> <p>② □ 利用率 100%、利用料金収入 12,470,400 円 (予算に比し、105%)</p>

イ 利用促進及び利用者サービスの向上について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①利用団体構成人数の変更(原則として10名)を機関誌やホームページ等により周知徹底</p> <p>②利用が少ない世代への積極的なアプローチ</p> <p>③ホームページ、パンフレット等の利用案内の充実</p> <p>④アンケート内容や回収方法の見直しによる来館者サービスの向上</p> <p>⑤関係団体等との協力体制の強化</p> <p>⑥市民ギャラリー所蔵の図録、印刷物、雑誌等を市民が自由に閲覧可能なライブラリーを設置</p>	<p>①■情報誌「アートヨコハマ」やホームページ等によるPR:3回(情報誌の発行にあわせて)</p> <p>②■大学、専門学校等への誘致活動:随時</p> <p>③□ホームページアクセス数:年間50,000件以上</p> <p>端末を事務室入口に設置し、端末での情報収集を紹介するとともに、アクセス数を増やす努力をする</p> <p>④□アンケート回収率:0.1%以上(入場者45万人/年のうち)</p> <p>満足度:ソフト面4.0以上、ハード面3.5以上</p> <p>⑤■交流、協議:随時</p> <p>⑥□仮称アートライブラリー:ボランティアとの協働で、蔵書の整理に着手し、平成25~26年度での開設を目指す</p>	<p>①閉館・移転が決定し、新規利用者を増やすことを見合わせたので、情報誌やホームページでの積極的な紹介はしませんでした。</p> <p>②閉館・移転が決定し、積極的な誘致活動は見合わせました。</p> <p>③週1回更新し、最新の情報提供を心掛けましたが、アクセス数は目標に届きませんでした。</p> <p>④事業ごと、貸館利用団体以外に、来館者へのアンケートを実施しました。</p> <p>⑤施設管理面で教育委員会管理課、絵画教室の運営に関しNPO法人横浜美術友の会との情報共有・調整を適宜行い、それぞれで円滑な運営を進めました。</p> <p>⑥市民ボランティアの「ライブラリーチーム」との協働で書庫整理を実施しました。</p>	<p>①■施設側から積極的には紹介しませんでした。問合せや利用の事前打合せ時等では必要に応じ伝えました。</p> <p>②■積極的な誘致活動はしませんでした。キャンセルによる空室時に美術大学に連絡し利用を勧め、利用していただくことになりました。</p> <p>③■週1回の更新</p> <p>□アクセス数47,000/年</p> <p>■端末を事務室受付に設置し(2011年10月1日~)、利用者サービスおよびホームページの存在を知っていただくことに努めました。</p> <p>④□来館者アンケート回収率0.05%、満足度ソフト面(人的対応等)4.0、ハード面(施設設備面)4.0</p> <p>⑤■日常的に密接な2機関以外にも各関係機関と調整し円滑な運営に努めました。</p> <p>⑥□■ライブラリーチームは、27回の活動を通して、書庫の整理を進め、整理目録作成までこぎつけました。閉館のためライブラリーの設置は見合わせましたが、市民協働のあり方として画期的な活動となりました。</p>

ウ 市民ギャラリー所蔵作品の適切な所蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>市民ギャラリー所蔵品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵庫内設備機器及び所蔵作品の専門業者による保守管理の実施</li> <li>・学芸員による収蔵庫設備、所蔵作品の点検結果の日報記載とデータベースの管理</li> <li>・学芸員の解説添付の「アートヨコハマ」を活用した作品の紹介</li> <li>・他美術館等への所蔵作品の貸出、熟覧</li> </ul>	<p>専門知識を持った学芸員が、庫内設備および所蔵作品の概観について毎日目視点検を行い保守管理に努める一方で、体系的に研究し資料としての価値を高め、地域文化の発展の礎を作ります。</p> <p>年に1回の所蔵作品「コレクション展」は、市民の財団である作品を展覧する目的に加え、日々の研究の成果を示す貴重な場として開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回以上の庫内機器の保守点検、年1回以上の作品棚卸を行い、状態の確認を行う</li> <li>・日報記載：毎日、データベース適宜更新</li> <li>・アートヨコハマ各号（年3回）で、親しみやすい紹介を行い、所蔵作品の広報に努める</li> <li>・随時</li> </ul>	<p>原則として毎日学芸員が、温室度点検および目視点検を実施し、年2回の庫内空調機器の保守管理を実施しました。コレクション活用として、「コレクション展2012」の実施、情報誌「アートヨコハマ」での所蔵作品紹介をし、市民にコレクションを広く紹介する一方、美術館関係者の熟覧を実施しました。</p>	<p>□専門業者による空調設備点検：年2回（6/10、12/13）</p> <p>■日報記載：毎日、学芸員が点検を実施しデータベースを更新しました</p> <p>■「コレクション展2012 THE フェイス-収蔵作品にみる顔の表現」“顔”をテーマに4章に分け、57点の収蔵作品を紹介しました。</p> <p>□「アートヨコハマ」45、46、47号で収蔵品紹介をしました</p> <p>□熟覧：2回</p> <p>■横浜市と庫内改善調査を実施</p> <p>前 H22 年度の収蔵庫調査に基づき、横浜市と相談の上、収蔵作品約1,300点のうち過去の調査記録を参考に状態の良くない100点を選び、専門業者による作品調査を実施しました。調査実施日：2/26-3/3</p>

エ アトリエ及び作品保管室の管理運営

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>アトリエ及び作品保管室の活用と管理運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの利用</li> <li>□利用率75%</li> <li>■自主事業（ハマキッズ、絵画教室、ボランティア活動）、ライブラリー設置準備作業として</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの利用</li> </ul> <p>主な利用として、自主事業の利用160日、ライブラリー設置準備作業（市民ボランティア「ライブラリーチーム」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトリエの利用</li> <li>□76.5%</li> </ul> <p>アトリエ、保管室ともに、貸館団体への貸出後には、「利用チェック表」を使って確認し、</p>

	<p>の利用、団体展の搬入保管・審査会場としての利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管室の利用</li> </ul> <p>■自主事業の補助的(準備等)利用、所蔵作品の整理・点検・貸出作業としての利用</p> <p>いずれも、施設の使い勝手や日常的に整理整頓をし、清潔さなどの快適性にも常に心掛け利用率を高めるよう努める</p>	<p>の活動として) 11日、団体展の搬入保管・審査会場として93日</p> <p>以上の目的で利用しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管室の利用</li> </ul> <p>基本的には貸館利用のための備品の倉庫として、また所蔵作品の整理・点検・貸出作業としての利用がメインでその意味で毎日利用があります。その他、自主事業や貸館利用の補助的利用としても活用しました。</p>	<p>日常的な整理整頓をし、清潔を保つことに腐心しました。</p>
--	--	--	-----------------------------------

オ 事業の実施・管理運営体制

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①ローテーション制とし、専門的な人材を配置、機能的・効率的な業務分担による組織力発揮</p> <p>②適切かつ効果的な勤務体制を確立します</p> <p>③施設の所管である教育委員会や絵画教室の委託先である NPO 法人「横浜美術友の会」等との連携</p>	<p>①早番(8:30-17:15)、遅番(9:30-18:15)の2交代制、展示室、撤去日の重点配置</p> <p>館長1人:統括責任者</p> <p>副館長1人:管理運営実務の責任者</p> <p>学芸職員(固有)1人:企画展開催、所蔵作品の管理、活用等</p> <p>教育職員(固有)1人:美術教育の支援、相談、講座等の企画</p> <p>施設管理(固有)1人:施設の維持、修繕等</p> <p>貸館運営(嘱託)1人:貸館事務</p> <p>庶務経理(派遣)1人:労務、防災、予算等</p> <p>アルバイト職員3人:ギャラリーの管理運営の</p>	<p>①早番、遅番の2交代制とし、貸館利用の展示および撤去作業に重点的に配置しました。</p> <p>館長1人、副館長1人、固有職員2名(経理労務庶務担当、学芸担当)、嘱託職員2名(施設管理、貸館利用)、派遣職員1名(教育普及、貸館事務)、アルバイト4名(補助業務)の総勢11名を配置しました。</p> <p>②館長、副館長も含めローテーション体制を組み管理運営にあたりました。</p> <p>③教育委員会管理課およびNPO法人横浜美術友の会とは頻りに連絡調整を行い、市民利用に遺</p>	<p>館長以下11名のスタッフにより適切に管理運営をし、施設運営上最も関係が深い2団体(教育委員会管理課とNPO法人横浜美術友の会)と適宜連絡調整し、遺漏ない運営を心掛けました。</p>

	<p>補助業務</p> <p>②館長、副館長も含めローテーション体制</p> <p>③日常の適切な維持管理のための連絡調整：随時</p>	<p>漏がないよう心がけました。</p>	
--	--	----------------------	--

カ その他

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①展示室利用料収入年間目標</p> <p>②多様なファンドレイズ等</p> <p>③事務経費削減の努力</p>	<p>①展示室利用料収入：11,850,000円</p> <p>H23年度の教育文化センターの施設修繕費(全館休館)の設定日が多くなったこと、および展示室利用に空きコマが出るケースが発生している(5コマ前後)という状況に鑑み、指定管理提案時より収入予想を240,000円下方修正</p> <p>②多様なファンドレイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金獲得目標額：ニューアート展 NEXT 1,000,000円</li> <li>・広告料獲得目標額：アートヨコハマ 500,000円</li> <li>・協賛金獲得目標額：ニューアート展 NEXT 100,000円 こども展 250,000円 コレクション展 50,000円</li> <li>・寄附金獲得目標額：諸自主事業 設定なし</li> </ul> <p>③経費削減 消耗品・備品等の購入節約、修繕再利用</p>	<p>①空室も事前に調整し、利用率100%となりました。</p> <p>②各自主事業の特徴や魅力を企画書化し早めのプレゼンテーションにより助成、協賛ともに前年度を大きく上回る実績を挙げました。</p> <p>③全市を挙げての光熱水費の節減努力や、消耗品費・修繕費・印刷製本費等で削減努力をしました。</p>	<p>①□H23年度利用料収入12,470,400円(予算比5%UP)</p> <p>②□ファンドレイズ協賛金・助成金の獲得総額=6,919,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニューアート展 NEXT2011 =5,580,000円</li> <li>横浜市こどもの美術展=360,000円</li> <li>コレクション展 =36,000円</li> <li>ハマキッズ・アートクラブ=453,000円</li> <li>アートヨコハマ =490,000円</li> </ul> <p>その他現物協賛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニューアート展 NEXT2011 =10,587,370円 (原価ベース)</li> </ul> <p>③□事業費は予算比で11%ほど支出増でしたが、管理費は予算比で14%ほど圧縮しました。</p>

	調達コスト削減：早期の委託契約・備品購入・入札の実施		
--	----------------------------	--	--

(3) 管理について

ア 保守管理業務

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局との連絡調整</li> <li>施設の利用環境維持のための連絡調整</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>綿密な連絡調整、相談：随時</p>	<p>[実施内容]</p> <p>日常的な施設管理面、それぞれに性質が異なる事業ごとの調整、休館日の施設点検および防災訓練といった例年の調整を綿密に行いました。加えて、節電対策、閉館移転問題も、横浜市および教育委員会と連絡調整に努めました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>懸案だった駐車場申請について、横浜市および教育委員会と調整し、6月から申請用紙を更新したところ、申請がスムーズになり、駐車場利用時のクレームが減少しました。</p>
--	------------------------------------	--	---

イ 環境維持管理業務

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①収蔵庫</li> <li>②その他</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①・学芸員が、庫内設備および所蔵作品の外観について毎日目視点検を行う</li> <li>②その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員による毎日の目視点検</li> <li>・利用団体に事前の説明を徹底し、破損・紛失等を未然に防ぐ</li> <li>・修復および買い替えが必要なものは適切な予算管理のもと適宜対応する</li> <li>・施設から日々発生するゴミは市の分別ルールに沿って適切に分別し、教育委員会事務局の回収ルートに則って廃棄する</li> </ul> </li> </ul>	<p>[実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学芸員が庫内設備および所蔵作品の外観について毎日目視点検を行い記録に付けました。</li> <li>②その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室およびその他処室は、開閉館時および適宜目視点検し、環境整備に努めました。</li> <li>・閉館移転が決定し、修復は安全第一、利用者への利便性を考え、最小限に抑えるようにしました。</li> <li>・ゴミは分別ルールに従って廃棄し、産業廃棄物は日常的にまとめておき1回で大量廃棄としました。</li> </ul> </li> </ul>	<p>[達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①<input type="checkbox"/>収蔵庫庫内環境の日報をつけました。</li> <li>②その他 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>産業廃棄</li> <li>ゴミ分別廃棄：毎日</li> <li>産業廃棄：12/15</li> </ul> </li> </ul>
--	--	--	---

	・産業廃棄物は、適宜専門業者に委託して適切に廃棄する		
--	----------------------------	--	--

#### ウ 保安警備業務

[業務内容] 保安警備	[達成指標] □日常点検：開閉館および業務時間内に3回、合計5回 ■業務日誌：毎日の日常点検を必須項目とその他事項を記載し、記録を残す ■教育委員会との協力連携：教育委員会事務局および24時間体制の警備室と日常的に情報の交換・共有を行う	[実施内容] □展示室を中心に、開閉館および定期巡回を実施し保安に努めました。 ■業務日誌は、日々の点検および業務を記録し、出退勤の職員が必ず目を通すようにしました。 ■教育委員会および警備室とは日常的に情報の交換・共有を行いました。	[達成状況] □展示室巡回6回 開館時 定時巡回（11:30、13:30、15:30、17:30）、 閉館時
----------------	---	--	--

#### エ 防災等

[業務内容] 防災	[達成指標] □共同防災管理： ・教育委員会主催の防災訓練参加：年1回 ・教育委員会主催の防火管理協議会参加 ・自主防災訓練：2回 ■防災マニュアル 教育委員会との共同防災マニュアルおよび独自のより詳細な防災マニュアルを作成し、絵画教室委託者（NPO法人横浜美術友の会）、利用者（展示室利用団体、アトリエ事業受講者）にも避難経路の確認、緊急時の対応を徹底する	[実施内容] □共同防災管理：教育委員会主催の防災訓練1回、自主防災訓練2回を実施しました。 教育委員会主催の防火管理協議会は招集実施がありませんでした。 ■防災マニュアル 3.11の東日本大震災を経て、防災のあり方を再度検討し変更して消防署に提出しました。 絵画教室委託者や利用団体、自主事業時など、避難路の確認、緊急時の対応を徹底しました。	[達成状況] □共同防災訓練1回：11/16 自主防災訓練2回：9/16、1/19 □防災マニュアル 7/6提出
--------------	---	---	--

#### オ 緊急時の対応

<p>[業務内容] 緊急時の対応</p>	<p>[達成指標]  <b>■緊急連絡網の作成</b>  <b>■あらゆるケースを想定し、市および教育委員会と日常的に対応を協議し、全スタッフ（館長からアルバイトまで）に対応の徹底を図る</b></p>	<p>[実施内容]  <b>■緊急連絡網を作成し、関係所管に提出し、連絡網に則って緊急案件の情報共有・対応をしました。</b>  <b>■市および教育委員会と日常的に情報を共有し、対応を協議してその任にあたりました。</b>  <b>想定外の事故については緊急連絡網により上席および財団事務局等と相談し対応にあたり大過なく運営しました。</b></p>	<p>[達成状況]  <b>■緊急連絡網の作成</b>  <b>職員異動が2度にわたったため、4/1と5/1に作成</b>  <b>■事故報告書8回。それぞれにつき迅速な対応を施し、必要な場合は横浜市および財団事務局と協議し対応しました。また事故後、報告書を速やかにあげ、情報共有および、その後生かすことを徹底しました。</b></p>
--------------------------	---	--	--

カ 光熱水費の削減努力

<p>[業務内容] 光熱水費の削減努力</p>	<p>[達成指標]  <b>■使用しない部屋の節電の徹底</b>  <b>■利用団体に照明について事前協議を十分に行い、必要以上の作品照射については節電への理解を求める</b></p>	<p>[実施内容]  <b>■使用しない部屋は防災防犯上の最低限の点灯としました。</b>  <b>展示室の点灯時間を開館30分前を徹底しました（以前は職員出勤時直後）。</b>  <b>■作品照射については、白熱球スポットライトから蛍光灯式スポットライトへの転換や、天井高のある部屋の照明バトンを下げ、その分照明を絞る（10～20%絞ることで電気使用量を少なくする）などの工夫をしました。</b>  <b>空調については、横浜市の基準をポスター等にして館内各所に掲出し利用団体・来館者の理解を求めました。</b></p>	<p>[達成状況]  <input type="checkbox"/>実施内容の徹底により、予算比で▲5.5%となりました。  （光熱水費は面積比で施設分担金として教育委員会に支払っているため詳細は把握できませんが、昨年度に引き続き展示室は100%利用率でありながら、5%以上経費を削減できました。</p>
-----------------------------	--	---	---

キ 絵画教室準備室等の提供

<p>[業務内容] 絵画教室準備等の提供</p>	<p>[達成指標] ・アトリエ室に委託者（NPO 法人横浜美術友の会）の事務機能を置き運営の遺漏・支障ないように努める ・市民ギャラリースタッフと委託者との日常的な相互コミュニケーションを心掛け、絵画教室受講者への柔軟で親しみやすい運営を心掛ける</p>	<p>[実施内容] ・アトリエ室内に委託者の事務機能を設置し、絵画教室と一体運営をし、運営の効率化を図りました。 ・日常的に相互コミュニケーションを心掛け、双方で受講者に対し柔軟で親しみやすい運営を心掛けました。</p>	<p>[達成状況] ■NPO 法人横浜美術友の会が運営に携わる、「絵画教室」「ヨコハマ日曜画家展」「卒業制作展」の各事業にわたって事故がなく、いずれの事業も前年度の数値より出品率、来場者等を上回りました。</p>
------------------------------	---	--	--

ク 施設予防保全

<p>[業務内容] 業務全般にわたって準備・整理整頓を徹底し 日常に備える</p>	<p>[達成指標] データ管理・備品類を整理整頓し、緊急時に落ち着いて冷静な判断で対処できるよう日常的な準備を怠らない</p>	<p>[実施内容] データ管理者（IT 担当者）、庶務係、貸館設備担当等を配置し、担当者を中心に、整理整頓に努めました。</p>	<p>[達成状況] 3.11 後の頻繁に続く余震時や展示室等で具合が悪くなった方への対応など日々の訓練や防災グッズの整理により速やかに処置することができました。</p>
---	---	--	--

（4）PDCA サイクルの確実な運用

ア 日報及び月報の作成・管理

<p>[業務内容] 日報及び月報の作成と管理</p>	<p>[達成指標] ・日報、月報を作成・管理する。 ・日常業務の中で PDCA サイクルを推進することで、短いサイクルでの早い対応・改善ができるよう努める</p>	<p>[実施内容] ・日報、月報を作成し、管理しました。 ・ルーティン化できる業務については、PDCA サイクルを使いマニュアル化し早い対応・改善を実施しました</p>	<p>[達成状況] ■収蔵庫の庫内環境は、定期点検とあわせ、日報の変化から庫内環境が好ましくないことを検知し、環境改善作業を実施できました。 ■貸館の撤去&amp;展示作業は、徹底的にマニュアル化し、短時間で作業が完遂できるよう、日々検討し改善につなげました。</p>
--------------------------------	---	--	--

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理

<p>[業務内容] 業務計画書および業務報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標] 定められた様式に沿って作成し、管理する</p>	<p>[実施内容] 次年度 24 年度業務計画書および 22 年度業務報告書を定められた様式で作成し、横浜市および財団事務局に提出し、市民ギャラリーでも管理反芻しました。</p>	<p>[達成状況] ・24 年度業務計画書 横浜市へは平成 24 年 3 月、財団事務局へは平成 23 年 12 月に提出 ・22 年度業務報告書 横浜市へは平成 23 年 8 月、財団事務局へは平成 23 年 4 月に提出しました。</p>
---------------------------------------	---------------------------------------	---	---

ウー 1 業務評価（モニタリングの実施）

<p>[業務内容] モニタリングの実施による業務評価</p>	<p>[達成指標] 毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する</p>	<p>[実施内容] 毎月のモニタリングで利用状況はじめ各種報告書類を作成し、管理運営月報とともに報告しました。</p>	<p>[達成状況] ■モニタリング時に、「管理運営月報」および「業務計画完了確認表」を提出しました。</p>
------------------------------------	---	---	--

ウー 2 業務評価（自己評価の実施）

<p>[業務内容] 自己評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標] 業務実績及び利用者の満足度や意見を元に自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める</p>	<p>[実施内容] 月報の作成やアンケート調査を行い、その分析を通して、自己評価・業務改善につなげました。</p>	<p>[達成状況] ■絵画教室の受講者アンケートを分析し、アトリエ空室利用もかねて、教室時以外にアトリエを開放する試みを実施しました。 絵画教室特別版「わたしのアトリエ」(2回：2月と3月)。</p>
----------------------------------	--	---	--

ウー 3 業務評価（第三者による評価の実施）

<p>[業務内容] 第三者評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標] 外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する</p>	<p>[実施内容]</p>	<p>[達成状況]</p>
-----------------------------------	--	---------------	---------------

(5) 留意事項

ア 保険及び損害賠償の取り扱い

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
保険及び損害賠償の取り扱い	施設賠償責任保険による管理瑕疵及び施設管理対応（除く所蔵作品）、不定期臨時雇用保険（事業開催時の単発アルバイト）、横浜市ボランティア保険（市民ボランティア）を掛け、必要時に適切な対応を実施する	財団事務局を通しての施設賠償責任保険および、不定期臨時雇用保険（事業開催時ごと）、横浜市ボランティア保険を掛け備えました。	保険を適用する事故や事件は起こりませんでした。

イ 法令の遵守と個人情報保護

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
法令の遵守と個人情報保護への取り組み	横浜市個人情報保護条例に基づき遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないよう努める	財団事務局開催のコンプライアンス研修の受講、個人情報の取り扱いに関する研修を実施するとともに、日々の業務の中で職員間で確認しつつ、細心の注意をもって個人情報を取扱いしました。	財団コンプライアンス研修：全職員が複数回受講しました 個人情報取り扱いに関する講義：2月6日

ウ 情報公開への積極的取り組み

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
市民ギャラリーの広報媒体を使って情報公開に努める	情報誌「アートヨコハマ」やホームページ等で公開し、積極的な情報公開に努める	情報誌「アートヨコハマ」およびホームページを通して積極的に情報公開に努めました。	■情報誌「アートヨコハマ」45, 46, 47の各号 ■ホームページ:毎週1回の更新時

エ 市及び関係機関等との連絡調整

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
市及び関係機関等との連絡調整	毎月のモニタリングにおいて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時横浜市・教育委員会・財団事務局に報告・	モニタリング他、緊急案件は、随時、横浜市および財団事務局に報告・協議し、適切な処理をしました。	■閉館・移転問題については頻繁に横浜市と協議を重ね、利用団体説明会の開催など（財団はオブザーバーとして出席）に対応しまし

	協議し、適切な処理を心掛ける		た。
--	----------------	--	----

オ その他

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な許認可及び届出等</li> <li>施設の目的外使用</li> <li>名札の着用</li> <li>人権の尊重</li> <li>近隣対策</li> <li>書類の管理</li> <li>行政機関が策定する基準等の遵守</li> <li>法律の制定及び改正への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の利便性を優先し、申請書類等の簡素化と迅速な手続きのあり方を工夫する</li> <li>美術振興の推進に貢献する目的外使用の範囲をその都度検討する</li> <li>施設内での名札着用を遵守する</li> <li>あらゆる差別を排除し、人権を尊重する管理運営を行う</li> <li>近隣の住民や企業、機関との協調に努める</li> <li>横浜市の文書管理規定を遵守する</li> <li>横浜市や神奈川県が策定する基準等を遵守する</li> <li>法律の制定及び改正については市との協議の上、迅速に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉館移転を控え、抜本的な申請書類の簡素化は実施しませんでした（途中での変更は混乱を招く）、利用要綱の一部改正を実施しました。</li> <li>目的外使用の範囲をその都度検討し、柔軟な対応をしました。</li> <li>職員はじめ館内で業務にあたる受託者、利用者に名札の着用を依頼し徹底しました。</li> <li>人権を尊重する管理運営を行いました。</li> <li>近隣関係者との協調に努め事業への参画を促進しました。</li> <li>横浜市の文書管理規定を遵守しました。</li> <li>市や県が策定する基準を遵守しました。</li> <li>「利用要綱」の一部改正に際しては、横浜市と協議の上、平成 24 年度からの実施としました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成 18 年 4 月 1 日施行の「横浜市民ギャラリー利用要綱」の一部改正 (改定箇所) 第 10 条 2 項 第 16 条 1 項 第 18 条 1 項 2 号 第 18 条 1 項 3 号 第 18 条 1 項 3 号但書 第 22 条 1 項 2 号 (追加) 第 18 条 1 項 4 号追加</li> <li>■名札着用 職員、NPO 法人横浜美術友の会、市民ボランティア、各事業時に関わるスタッフおよび受講者に着用を義務付けました。</li> </ul>

## (4) 収支決算額について

## 収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	60,010,000	60,010,000	0	指定管理料 60,010,000 円
利用料金収入	11,850,000	12,470,400	-620,400	展示室貸出利用料が予想を上回った
芸術文化事業収入	12,647,000	18,179,879	-5,532,879	絵画教室の受講率が極めて高く満席だった、予想を大きく超えた協賛金&助成金収入があった
その他収入	900,000	1,924,900	-1,024,900	助成金、協賛金が予想を上回った
合計	85,407,000	92,585,179	-7,178,179	

支出				
人件費	43,300,000	52,899,510	-9,599,510	・提案書では館長兼任予定のところ専任となった ・経験年数の長い職員を配置した
管理費	12,140,000	12,139,678	322	ほぼ予算通りの執行となった
事業費	20,409,000	22,701,653	-2,292,653	協賛金と助成金が予想を上回ったため、主にニューアート展とこどもの美術展をより充実させるため支出が増加した
事務費	9,558,000	8,230,067	1,327,933	印刷製本費や消耗品費等の支出を削減した
合計	85,407,000	95,970,908	-10,563,908	

収支計	0	-3,385,729	-3,385,729	当期収支差額
-----	---	------------	------------	--------

## 【別紙1】

## 自主事業実績一覧

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	主催・共催等	入場見込	入場料・受講料	入場者数
	4月	平成23年度 絵画教室	アトリエ	一般者の 絵画 教室	横浜市民ギャラリー (横浜市芸術文化 振興財団)	770名	レギュラーコ ース 21,000 円/年 単科コース 1,500円～ 15,000円	770名
	6月	第35回ヨコ	1,2,	市民の	NPO法人横浜美術	6,000名	入場無料	7,378名

		ハマ日曜画家展	3Aの各展示室	無審査公募展	友の会・横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)		(出展者出展料一般 4,000円、高校生 1,000円)	
		ハマキッズ・アートクラブ ①「メッセージボードをつくろう！」	アトリエ	子ども向け講座	横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)	4~10歳 30名	1,500円	16名
	7月	ハマキッズ・アートクラブ ②「ダンボールアート」	アトリエ	子ども向け造形講座	横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)	小学生 + 保護者 25組	2,000円	53名
		横浜子ども美術展 211	全展示室	0歳から12歳までの無審査公募展	横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)	8,000名	入場無料	12,165名
	8月	横浜子ども美術展 2011	全展示室					
	9月	ハマキッズ・アートクラブ ③「世界の“ブーちゃん”を描いてみよう」	アトリエ	子ども向け造形講座	横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)	小学生 30名	1,500円	21名
		「ニューアート展 NEXT201 Sparkling Days」	3階展示室	展覧会 インスタレーション、 油彩画 他	横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)	4,000名	無料	3,454名
	10月	「ニューアート展 NEXT201 Sparkling Days」	3階展示室					
		ハマキッズ・アートクラブ ④「粘土で“に	アトリエ	子ども向け造形講座	横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)	小学生 30名	1,500円	29名

		んげん”をつ くろう」						
11月	ハマキッズ・ アートクラブ ⑤「クリスマ スのあったか クッション」	アト リエ	子ど も向 け造 形講 座	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	3～6年 生30名	1,500円	31名	
12月	ハマキッズ・ アートクラブ ⑥「お正月飾 りをつくって みよう」	アト リエ	子ど も向 け造 形講 座	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	4～10歳 30名	1,500円	27名	
1月	ハマキッズ・ アートクラブ ⑦「書・文字・ 友好」	アト リエ	子ど も向 け造 形講 座	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	小学 生30 名	1,500円	30名	
2月	絵画教室特別 版「わたしの アトリエ」	アト リエ	自分 のペ ース で絵 を描 く	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	30名	2/6-10の5日 間で9,000円	20名	
3月	絵画教室特別 版「わたしの アトリエ」	アト リエ	自分 のペ ース で絵 を描 く	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	30名	3/9-11の3日 間で4,500円	27名	
	絵画教室卒業 制作展	3階 A・B 展示 室	絵画教 室の成 果を登 表する 展覧会	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	2,000名	無料	2,290名	
	コレクション 展2012「THE フェイス-収 蔵作品にみる 顔の表現」	1・2 階展 示室	展覧会	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	3,000名	無料	5,009名	
	おとなのため の教養講座ハ マゼミスペシ ャル	アト リエ	講演会	横浜市民ギャラ リー(横浜市芸術文化 振興財団)	30名	無料	52名	